



# T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



『未来を見据えて』

～Road to the Future～

東京六本木ロータリー・クラブ会長

## W E E K L Y R E P O R T

『地域を育み、大陸をつなぐ』

～Building Communities

-- Bridging Continents～

国際ロータリー・クラブ会長

発行日 2010年11月1日

第249号

2010-2011年度 No. 14

### 本日のプログラム

平成22年11月1日  
卓話 『青少年交換プログラムで  
フランスへ派遣していただいて』  
青少年交換委員会 (ROTEX)  
清水 裕花 様

#### プロフィール

2007-2008年度、フランス、トゥール派遣 上智大学文学部フランス文学科二年

[近況]

3年前フランスへ派遣していただいたときフランス文学に魅力を感じたことがきっかけで、現在大学で学んでいます。フランス語をはじめ、フランスについて様々なことが勉強できとても楽しいです。

また、サークル活動で演劇をしており、こちらにも力を入れています。主に役者をやっており、公演前には毎日稽古と忙しいですが、勉強やローテックス活動と共に頑張っています。

### クラブからのお知らせ [10月25日例会]

#### ● 会長

- 羽田空港国際化、ロッテ・中日の日本シリーズ、奄美大島豪雨など様々なニュースがあります。
- レアアース・レアメタルまた金銀の価格などが注目されますが、1980年頃は金が1g 8,000円でした。ドルの暴落は困りますが、日本も資源の備蓄を考えなければならないのではないのでしょうか？
- 本日の島田学長の卓話を楽しみにしております。

#### ● 幹事

- 広尾RCケニアナイト2010のお知らせ  
～ケニアに井戸を 飲料水支援プロジェクト～  
2010年11月26日(金) 17:30より東京アメリカンクラブにて開催
- IMのお知らせ 11月8日開催
- 米山月間 奨学金寄付のお願い
- 理事会報告及び臨時理事会開催のご案内

ハワイ カハラサンライズRC、山下恵美子さんとバナーを交換しました





東京六本木ロータリー・クラブ

T O K Y O  
R O P P O N G I  
R O T A R Y C L U B

平成22年10月18日

## 卓話 『加賀藩の江戸三度』

浅田屋伊兵衛商店株式会社 取締役  
東京六本木ロータリー・クラブ 会員

浅田 豊久 様

文化と文明という言葉はよく比較されますが、文化というのは情緒的満足度、文明は集団生活の知恵であり技術であるということを先人から聞いたことがあります。江戸時代は、実は現在の国の形とほとんど変わらないものがあります。

江戸と金沢を結ぶ飛脚便のことを江戸三度飛脚と申しておりました。出発日を出日といって、9日、19日、29日に定められていました。同じく京三度というものもございました。これは朝廷へのいろんな手続き、儀礼等のやはり月に三度の飛脚便です。江戸三度は加賀藩の発行した藩札を表示することで飛脚さんは関所をフリーパスで通過できる。同じような流通送の組織は尾州藩にもあったという記録が残っています。

発端は私の祖先の浅田屋伊兵衛が、加賀藩の初代藩主、前田利家卿が織田信長の前線で戦っていたとき、兵士の食料、馬の餌、ワラジなどの消耗品を前線に届けなければならなかったことから始まりました。江戸三度飛脚が開業許可を加賀藩からいただいたのは、主にコミュニケーションツールとしての書状を江戸藩邸と地元加賀藩の間で運ぶのが目的でした。金沢、江戸間は530キロございますが、早飛脚で丸2日、中飛脚で7日、通常の歩きで8日、これが3月から9月の夏場の日数です。料金は、まげもの、紙包み、100匁につき43文4分という記録が残っています。書状は5匁まで8文。それからお金も運ぶ対象になっていて、1両から159両までいくら、500両までいくらかと分けられていました。それから為替。金沢で仕入れたものを江戸で決済するための為替システ

ムがこの飛脚制度によって維持されていきました。

参勤交代では陣屋と本隊との通信が重要です。最大時で2千人近い人間が17泊の道のりを旅します。これにも馬の餌、侍の3度3度の食事、それから駕籠に1日ゆられるお殿様のために軽業師とか芸者衆が付いて行くわけで、そういった段取りを用意しなきゃいけない。そこで私どもの祖先が飛脚を仕立てて、殿様の到着まであと何時間かかるとか体調はどうといったようなことを先走りの隊の責任者のところへ届けて、それではということで地元の医者を用意するとか、そういうことがいろいろ想像できるわけです。

過酷で重責を担う江戸三度飛脚が何をもって働くか、その背骨の部分が名誉でした。加賀藩の紋どころが押してあると中山道から北陸道の北国街道の関所はフリーパスで走り抜けることができた。徳川家からお姫様お輿入れのときは葵の御紋が付いていて最も名誉になったということでございます。藩からの課税は免除という特典が半分、藩の命運を左右するような重要な書類のやり取りを担っていたという名誉が半分で、それが三度飛脚を江戸末期まで続けさせた原因です。

浅田屋伊兵衛という祖先が加賀藩から名字帯刀五人扶持を許されて昨年が丁度350年。菩提寺には私ども祖先の記録が全部残っております。ご静聴ありがとうございました。





## 11月1日～7日は「世界インターアクト週間」です (World Interact Week)



今日の若者は、将来親となり、専門職業家や産業界のリーダー、そして社会のリーダーとなっていきます。

インターアクトのようなプログラムを通じて、若者は、責任を持ち社会に貢献できるような成人となるための知識や技能を身につけることができます。今こそ、ロータリー・クラブは未来に目を向け、新世代の若者たちが自分の才能を開花し、新たな能力を身につけ、人生の中で直面する課題に立ち向かっていくことができるよう育てていく必要があるのです。インターアクトの参加者は、このプログラムを通じて、生涯役に立ち、その後の世代にも引き継がれていく力を身につけることができます。



インターアクターは、ロータリー・クラブ結成の先駆的存在となり、また、ロータリー青少年指導者養成プログラムの参加候補者としても有望です。また、インターアクターの中には、青少年交換学生、または国際親善奨学生となる人もいます。

ロータリアンは、多くの人々がかかわるインターアクト関連の地区行事の立案や開催を行うことで、自らの指導力やコミュニケーション力を発揮することができます。また、地区委員長にとっては、若者を育成し、将来地域社会で活躍できるリーダーとなるのに必要な能力を授ける機会となります。

(国際ロータリーホームページより)

1962年に初めてインターアクト・クラブが結成されたのを記念して、毎年11月5日の週は、世界インターアクト週間として世界中で祝われています。

この機会に、世界中のインターアクト・クラブは、提唱ロータリー・クラブと協力して共同プロジェクトを行うよう奨励されています。

世界インターアクト週間は、インターアクト・クラブ会員によるさまざまな功績を、地域社会の人々に広く知ってもらうのに、最高のチャンスです。インターアクトのプロジェクトに、地域社会の人々にも参加してもらいましょう。

(国際ロータリーホームページより)



## ニコニコBOX情報

成田 耕一さん(茅ヶ崎中央RC)

本日はお世話になります。

宇佐見 千嘉さん

秋も深まってまいりました。島田晴雄様、本日の卓話楽しみに致しております。

篠塚 博さん

島田先生再度六本木RCへお越しいただきありがとうございます。  
卓話楽しみにしております。

藤井 卓也さん

49年前の本日、私共は結婚いたしました。

安間 百合子さん

島田先生、本日は、ご多忙の中ありがとうございます。卓話楽しみにさせて頂いております。

齋藤 明子さん

昨日紅葉を見てきました。秋を身近に感じたひとときでした。でも寒くなるのはいやだな～！

石上 和敬さん

平素は御無沙汰ばかりで恐縮でございます。  
今年も宜しくお願い致します。

森 佳子さん

島田先生、今日のお話を楽しみにしております。

安井 悦子さん

島田晴雄様 本日の卓話ありがとうございます。

渡邊 滋さん

日が短いですね。  
「日のくれと子供が言いて秋の暮」

高浜虚子

松本 智さん

本日より衣替えです。  
10月もこの辺りまで来ると、今年の終りが近づきます。時間は早く過ぎますヨ。

10月25日

合 計	49,000円
累 計	1,193,000円

## 次回のプログラム

平成22年11月8日

卓話『笑いと健康』

株式会社テレビランド 代表取締役社長

澤田 隆治 様

## プロフィール

1933年大阪府生まれ、京城(ソウル)で育つ。終戦で引きあげ、父の故郷・富山県高岡市から兵庫県尼崎市へ。

1955年神戸大学文学部日本史学科卒業。朝日放送に入社。ラジオのプロデューサーからテレビのディレクターへ。

1960年代に、『てなもんや三度笠』、『スチャラカ社員』などの、大阪発の公開コメディ番組で「あたり」をとる。週3本のレギュラー番組を演出して視聴率100%男の異名で知られる。

1970年代には、『ただ今恋愛中』、『新婚さんいらっしゃい』などを企画・制作。1970年の大阪万博をはじめ、イベントプロデューサーとしての活動も多い。

また、得意の喜劇の舞台演出も多数。

2001年から2008年まで帝京平成大学現代ライフ学部の教授、2001年から2004年まで、国士舘大学21世紀アジア学部講師、2006年から笑いと健康学会会長。



## 10月25日の例会出席率(暫定)

会員の例会出席者数 30名

会員の例会出席率 64%

ゲストの参加者数 10名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。

## 東京六本木ロータリー・クラブ

会長 篠塚 博 幹事 山口 富久

広報・週報 片岡 雅敦  
委員長広報・週報 渡辺 美智子  
副委員長事務局 〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>